

愛川より

6月13日（火）、14日（水）、5年生の宿泊体験学習で愛川に行ってきました。

梅雨入りしているとは思えないほどの晴天の下、バスで神奈川県の中核部に向かって走っていきました。途中で景色が変わり、緑の木々が増えてくる様子、水を張った田んぼで田植えをしている様子、川の水が美しく流れている様子を目にするたび、子どもたちから歓声が上がり、タブレットで写真に収めるなどしていました。

愛川公園に着き、体験工房で陶芸体験と藍染め体験を交互に行いました。



愛川ふれあいの村では、野外炊事でカレーをおいしく作り、キャンプファイヤーで大いに盛り上がりました。

2日目は宮ヶ瀬ダムでレクチャーを受けました。ダムを建設するにあたって、予定地の溪谷周辺に住む人々に移転をお願いしたこと、そこにあった集落が湖の底に沈んでしまったという話を、子どもたちは真剣な様子で聞いていました。エレベーターでダムの下の部分に降り、観光放流を見学しました。大量の水が一気に流れ落ちるさまを目の当たりにし、また水しぶきや流れの生み出す風を体で感じる事ができ、ここでも子どもたちから歓声が上がっていました。

服部牧場で乳しぼり体験をし、アイスを食べながら学校へと向かいました。



愛川ならではの自然にふれ、盛りだくさんの体験を行う中で、5年生は集団で行動したり生活したりする際の楽しさを味わい、また自分たちの現在の課題についてとらえ直していました。2日間の宿泊学習を通して、今後よりいっそうの成長につなげられることと思います。